

# 玖珠祇園大祭

七月二十一日(土)二十三日(日)、玖珠祇園大祭が行われました。

以前は塚脇祇園として単独で行われていましたが、平成十六年から森・下旦・北山田と一緒に「玖珠祇園大祭」を開催し、賑わいを増しています。

寺山神社でお払いが行われた後、法被姿のたくましい男衆によつていよいよ塚脇祇園車の繰り出しです。

協心橋で四台の祇園車が集まり式典を行った後、春日町交差点で餅まき等が行われ多くの見物客が集まりました。

塚脇祇園は明治四十年頃から行われ永い歴史があり、現在使われている祇園車は昭和五年に購入されたものだそうです。(当時の購入価格は四百十二円)

山車の輪の交換や、奉納庫の建設、保存会の設立等を経て、長い間大切に地域によって守られ続けている塚脇祇園車です。

梅雨明け間近の夏の夜に響く太鼓と鐘の音、威勢のいいかけ声と祇園車は夏の夜を一層熱くしてくれました。



多くの見物客が訪れた玖珠祇園大祭のようす

## 第7回

### 山浦地区&東予賀町 交流会開催

七月二十九日(日)山浦川沿いの夢公園で佐賀県東予賀町と山浦地区の交流会が行われました。

この交流会は、山浦川親睦会(会長 小野賢二)と山浦地区青少年健全育成協議会(会長 梅木 稔正)が主体となり、毎年交互にそれぞれの地区を訪れて、子ども達の交流を図ることを目的に行われ、今年で七回目の開催となりました。

開会式では、山浦地区の子どもを代表して梅木 駿くん(六年生)が、「海の香りとは違うマイナスイオンたっぷり山浦川の香りをお腹いっぱい吸って、夏休みのよい思い出にしましょう」とあいさつをしました。

東予賀町からは、子ども二十七

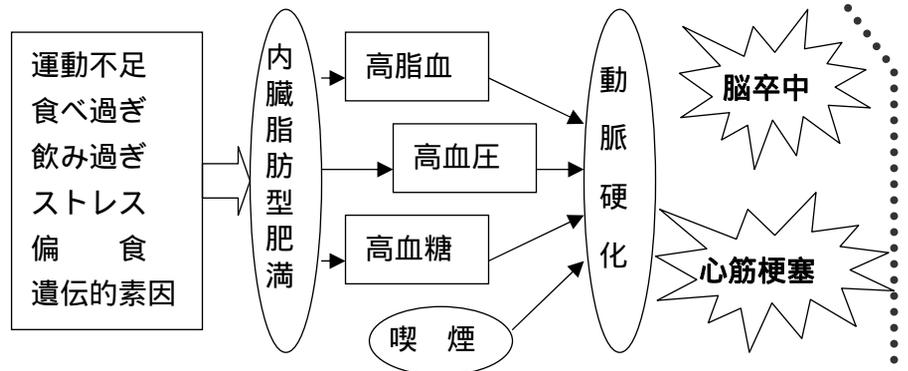


そうめん流しを楽しむ山浦地区と東予賀町の皆さん

名・おとな十八名、山浦地区からは子ども五名とおとな三十名の計九十名が参加し、エノハの放流やつかみ取り、そうめん流しなどで交流を深めました。今年で七年目のつき合いとなり、関係者も一年ぶりの再会で、話も弾み大いに盛り上がりました。準備等、大変なことも多い交流会ですが、子ども達の喜ぶ姿を見て、今後も続けていこうと決意して閉会しました。

## 暮らしのミニ情報

最近よく耳にする「メタボリックシンドローム」とは？  
内臓脂肪の蓄積による複合異常からくる全身性動脈硬化



### 診断基準

必須条件～内臓脂肪型肥満

腹囲(へその高さ)男性 85 cm以上

女性 90 cm以上

高脂血  
高血圧  
高血糖  
3つのうち2つ以上該当

ちょっと太めが  
危険の始まり

改善法 内臓脂肪蓄積の解消を目指す！

消費低下の解消～身体活動料を増やす

摂取過剰(飲み過ぎ・食べ過ぎ)の予防

1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ

## 健康体操でいい汗流してます

「童里夢スポーツクラブ」がB&Gで行っている教室を、月に一度玖珠自治会館で行う「健康体操教室」(コミュニティ支援事業)が、六月からスタートしました。

七月は講師にトータルフィットネス・アドバイザーの生田のり子さんを迎え、元気いっぱい楽しいトークとゲームで頭と体をほぐした後、日常生活のなかで出来る元気な体づくりのための体操を行いました。

一時間半の教室が終わる頃には、皆さん爽やかな汗と笑顔を輝かせていました。

